

20年後のたつの市役所を考えるワークショップ
実施結果報告書

■ 実施目的

本市における行政改革は、基本的な方針を示した行政改革大綱（平成 18 年策定）から本格的にスタートし、5 年ごとの見直しを経て、現在の「たつの市行政改革推進実施計画」（平成 29 年～令和 3 年度）に至っている。

この度、本計画の見直し検討のために、将来（2040 年頃）に迫り来る社会課題（急速な人口減少・高齢化）がある中で、住み続けたい“たつの市”であるためにはどのような行政サービスが必要か、市民から意見を聴く場として「市民ワークショップ」を開催した。

2020
12/6(日)
10:00~12:00
@たつの市役所
新館4階
災害対策本部
兼大会議室
あたらしく
できたところ！
コーディネーター
長谷川香里氏
(納屋工房)

たつの市民が、
20年後の
たつの市役所を考える。

参加者募集！
11/24(木)迄
先着順
こども一時預かり
OK(要事前予約)

課題も多いけど
たのしく暮らしていきたい！

住みたい理由？
AI
人口減少
公共施設は？
何に困りそう？

未来のために
なにができるかな？

20年後は何歳？
行政サービス
高齢化
コミュニティ
何があれば幸せ？

みんなで考えよう

写真：上田敬祐

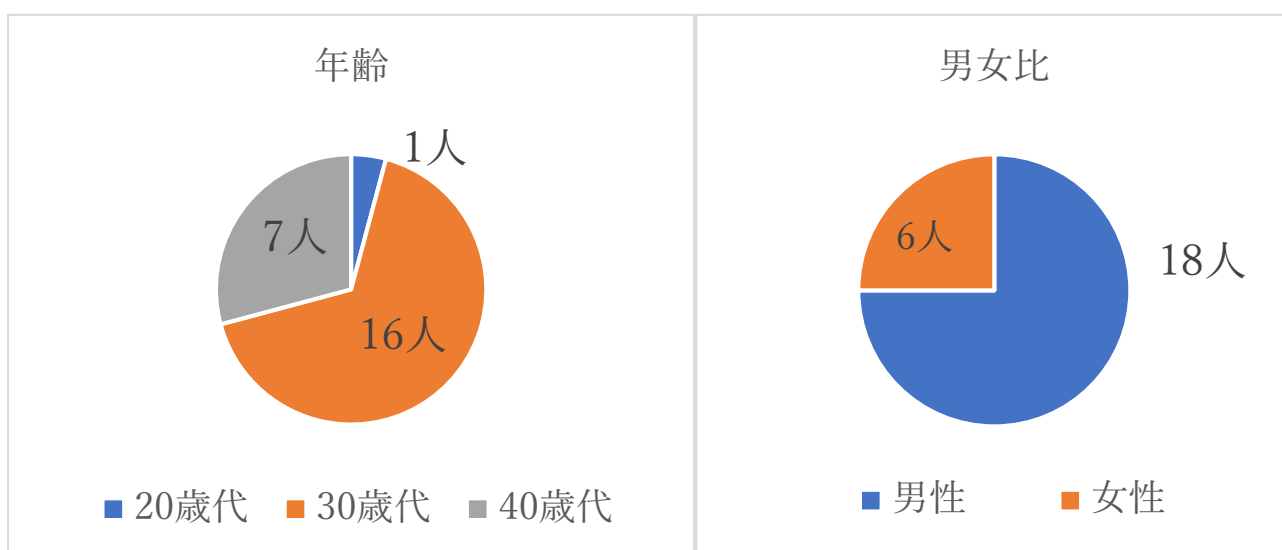
住み続けたい未来のたつの市とは？

- 日 時 令和 2 年 12 月 6 日 (日) 10:00 ~ 12:00
- 場 所 たつの市役所 新館 4 階災害対策本部兼大会議室 (たつの市龍野町富永 1005-1)
- 応募資格 市内に在住又は通勤・通学している 50 歳未満の方 (高校生以上) ■定員 先着 30 名
- 申込方法 ①申込フォーム (右 QR コードより)
②「住所・氏名 (フリガナ)・電話番号・年齢・勤務先又は学校名 (在勤・在学の方)」
を書いて、郵送・メール・FAX・電話のいずれかでお申し込みください
- 申込・問合せ先 たつの市企画財政部企画課 〒679-4192 兵庫県たつの市龍野町富永 1005-1
TEL 0791-64-3141 FAX 0791-63-3786 メール kikaku@city.tatsuno.lg.jp

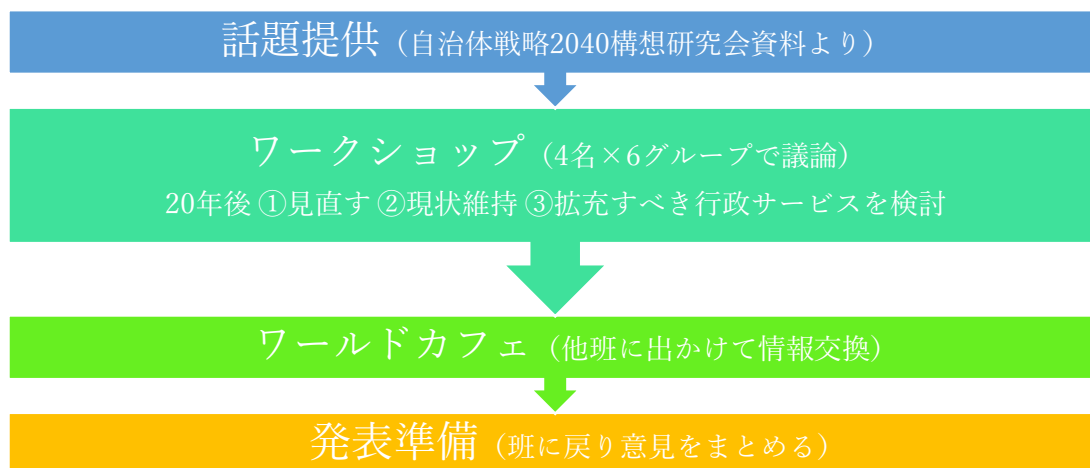
※定員に達した場合、募集を締め切り市ホームページでお知らせします。 ※新型コロナウイルス感染症の流行状況によって中止又は延期することがあります。

■ 20年後のたつの市役所を考えるワークショップについて

- 実施日時 令和2年12月6日（日）10：00～12：00
- 実施会場 たつの市役所 新館4階 災害対策本部兼大会議室
- 対象者 市内に在住又は通勤・通学している高校生以上50歳未満の方
- 参加者プロフィール 24名



■ ワークショップの流れ



■ 議題の共有

自治体戦略 2040 構想研究会（総務省主催）の報告より、「社会課題」と「2040 年頃に想定される行政課題～人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか～」を共有するために以下の項目を紹介し、議題提供した。

① 全国の人口動向（※たつの市の状況）

② 2040 年頃までに想定される課題

i) 子育て・教育

- ・社会構造（共働き等）の変化に即した子育て環境整備が必要
- ・ニーズ変化（幼稚園➡保育所・こども園）
- ・大学進学率が低い地方圏において、高等教育を受ける機会の更なる喪失の恐れ

ii) 医療・介護

- ・高齢者増により、介護需要増
- ・一人暮らし高齢者の増。（家族や地域の支えが弱い）

iii) インフラ・公共交通

- ・人口減少下による公共料金（上下水道料金）の上昇
- ・老朽化したインフラ・公共施設の更新が大幅に増加（※たつの市の状況）
- ・公共交通に経営環境悪化による利便性低下（廃止路線の増）

iv) 空間管理・防災

- ・都市のスポンジ化（低密度化）が進行
- ・空き家の増加

v) 労働力、テクノロジー

- ・労働人口の減少によって、ヒトと機械の共存、協調が求められる

③ ※たつの市の財政状況

貯金状況（基金）、借金状況（地方債）等の財政状況について

※たつの市の人口動向、公共施設の状況及び財政状況については、事務局（企画課）が紹介。そのほかは、コーディネーター（納屋工房・長谷川氏）が紹介。



■ ワークショップ「20年後の行政サービスのあり方の検討」

職員数が今の半数になったとしても持続可能な形で住民サービスを提供することができる自治体であるために、将来（20年後）を想像して「行政サービスのあり方」を検討する。厳しい状況を想定してのシミュレーションである。

（ワークショップ）4人1組×6グループに分かれ、吹き出しの付箋を使って、1枚に1つの行政サービスを書き出し、模造紙に貼付する。模造紙は4つ折りにし、左は「見直すべき（減らしてもよい）」、真ん中は「現状維持」、左は「拡充すべき」、そして、上は「行政がそのまま担う」、下は「民間委託や市民が担う」とする。それぞれの行政サービスのあるべき位置に貼付する。

（ワールドカフェ）班を移動して、別の班と情報交換を行う。四角の付箋を使って、足りない情報や共感できる情報を貼付する。

（発表）各グループ3分で議論の内容（目立った意見、グループの特徴的な点など）を発表する。



■ ワークショップ結果 (B 班)

● 見直すべき (減らしてもよい) と考える行政サービス

・ 公共施設 (公民館、図書館、公園など) : 老朽化した公共施設は集約して維持費を減少させる。合併で多すぎると思うので、こちらには図書館、こちらにはスポーツ施設といったふうに集約を検討。不要な施設は民間に売却して資金を捻出。

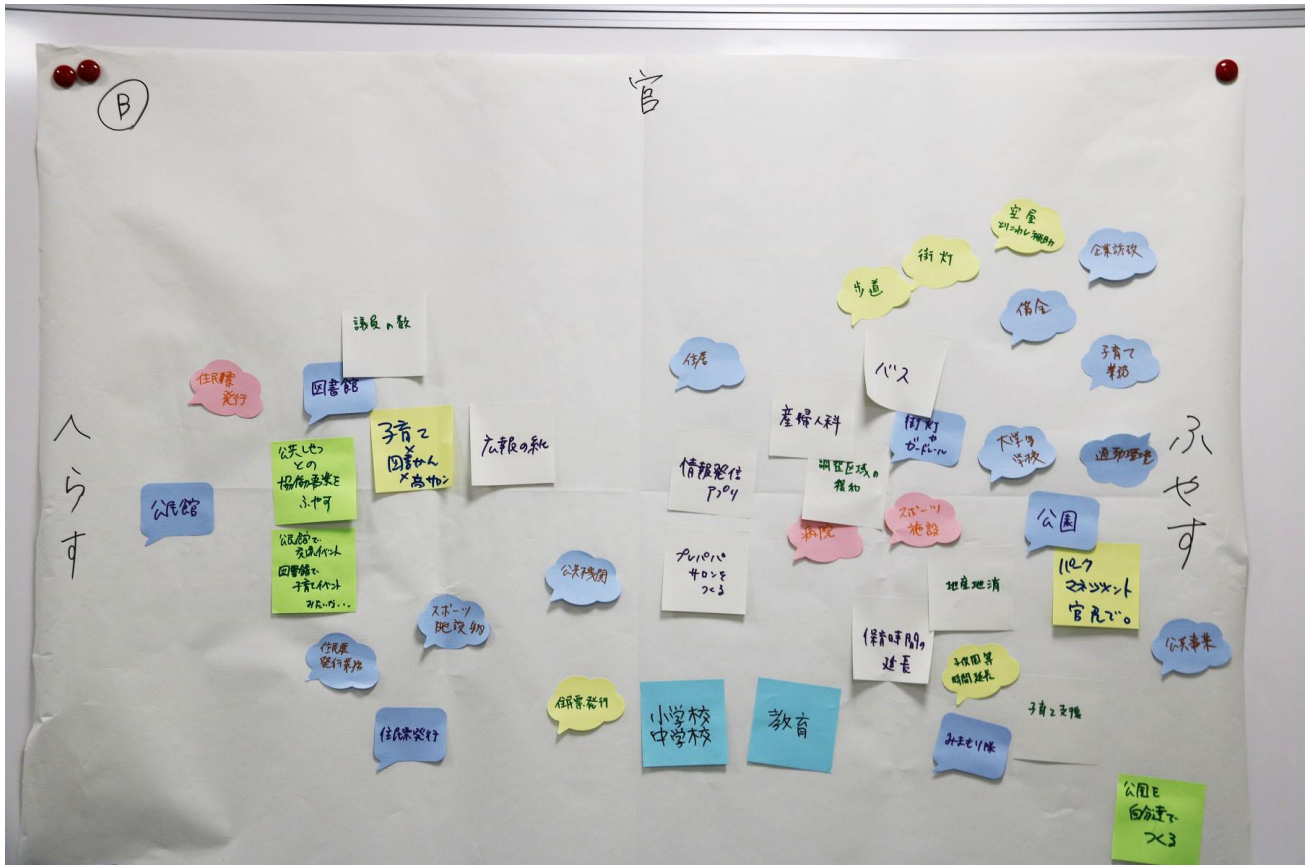
公園については、老朽化した遊具を撤去したまま数を残すのではなく、車で行ける大きな公園を整備し集約した方がよい。

● 現状維持又は拡充すべきと考える行政サービス

- ・ 保育時間の延長 : 子育て世代の共働き世帯を支援するため
- ・ 産婦人科
- ・ 企業誘致
- ・ 空き家の取り壊し補助金
- ・ 大学や学校の誘致

● 民間委託・市民が担っていくべきと考える行政サービス

- ・ 見守り隊
- ・ 住民票発行



■ ワークショップ結果 (E 班)

● 見直すべき (減らしてもよい) と考える行政サービス

- ・ 窓口業務
- ・ 花火：あちこちでやっているのをまとめる、4年に一度にして大きくやるのもいい。
- ・ 子どもの医療費

● 現状維持又は拡充すべきと考える行政サービス

- ・ 空き家を活用し、ゲストハウスやたつの市をお試ししていただく → 人口減少に対応
- ・ 自転車などモビリティの活用検討 → まちを楽しむために

● 民間委託・市民が担っていくべきと考える行政サービス

- ・ 揖保乃糸、皮革などの名物産業を SNS を活用し、意図を持った投稿が必要。
- ・ 空き家活用：空き家+農地、テレワーク移住の推進など
- ・ ふれあい広場など、人とのコミュニケーションを促す場



